

情勢報告（平成 2 5 年 4 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

須崎・津野山・中土佐地区の「直販所安心・安全ネットワーク」への取り組みの説明会



3月28日に、JA土佐くろしお資材センター「ふれあい」において管内12カ所の直販所に呼びかけて「直販所安心・安全ネットワーク」への取り組みの説明会を行いました。

これまでJA土佐くろしおと津野町では、それぞれに所管内の直販所における農薬の安全使用システム作りの取り組みを進めていました。昨年9月に両者と振興センターが合意して、JA土佐くろしおでまとめた台帳をベースに直販所用農薬使用記録簿の参考様式を作成し、これをより効果的に活用するための仕組みとしての「直販所安心・安全ネットワーク」を設立することとしました。

当日は、インショップを含む11カ所の直販所から15名が参加しました。今後は、JA所管の直販所と、その他の呼びかけに応じた直販所でネットワークを立ち上げ、安心・安全への取り組みを推進します。

JA土佐くろしおハウスシトウ部会の現地検討会が開催されました。



3月27日に、JA土佐くろしおハウスシトウ部会の現地検討会が開催されました。気候も暖かくなり、収穫の忙しい時期であったにもかかわらず、多くの方々が参加されました。

検討会では、JAの営農指導員からはほ場の耕種概要の説明があり、振興センターからは、現地ほ場で行っている品種や仕立ての試験の経過と、IPM技術の試験結果やシトウの生育に影響を及ぼすハウス内温度などについて説明を行いました。

春になり天敵のみならず害虫の密度も高くなる時期という事もあり、天敵の定着状況や防除効果のあがる密度などについて、また、樹の状態を見ながら品種の特性などについての質問や意見交換があり、活発な現地検討会となりました。

今後も振興センターは、JAと協力し、生産者の栽培技術向上を支援していきます。

津野山農協園芸部総会が開催されました。



JA津野山園芸部（ナス部会、ミョウガ部会、シトウ部会）の総会が4月11日に行われました。

全体会に先立ち開催された各品目部会では、去年の作を振り返り、悪天候の中でも高収量をあげた農家の施肥管理・水管理などのポイントや、生育初期の栽培管理について技術の共有を図り、それぞれの年間計画を立てました。

全体会では、農業所得の確保や担い手育成、そして消費者交流などJAの重点施策の方針が表明されました。また、JA研修施設「みらい塾」の研修生が新たな仲間として紹介され大きな拍手で歓迎されました。

今後も振興センターは、関係機関と連携して地域の農業振興を支援していきます。

J A津野山花木栽培講習会が開催されました。



J A津野山では現在、花桃を中心に数種類の花木が出荷されており、それらの花木栽培者を対象とした栽培講習会が4月5日に行われました。

講習会にあたって、出荷先である(株)名港フラワーブリッジの担当者も参加し、最近の花木販売状況や、出荷物の品質について意見交換を行いました。意見交換をする中で、水揚げ処理方法や選別を改善することで販売状況が良くできる可能性が見出され、今後それらに取り組んでいくこととなりました。振興センターはこの取り組みに協力し、花木栽培を支援していきます。

JA土佐くろしおのミョウガ部会目慣らし会を開催中。



J A土佐くろしおミョウガ部会では、4月16日から地区ごとに分けて延べ15回を目慣らし会を開催中で、ほぼ全生産者が参加し出荷品の揃いを良くすることに努めています。

振興センターからは、今年の気象状況の報告や、近年問題となっている「水やけ症」対策について情報提供を行いました。また、試験を行っている日射比例灌水の紹介も行い、「水やけ症」対策に有効と思われる適切な水管理を心がけるよう呼びかけました。